平成30年度国際的機関主催会合等への若手派遣事業について(追加)

放射線防護アンブレラ代表者会議

平成30年8月1日

 放射線防護アンブレラとは、放射線防護に関連する学術コミュニティと放射線利用の現場をつなぐことを目的としたアンブレラ型のプラットフォームです。平成29年度から原子力規制委員会の放射線安全規制研究戦略的推進事業として、放射線防護の喫緊の課題の解決に向けた様々な活動をしております。その活動の一つとして、平成30年度には国際的機関主催会合等に、若手専門家の派遣を行うことと致しました。

　OECD/NEA主催の国際放射線防護スクールとIAEA主催の国際会議への派遣（応募は既に締め切りました）に加え、代表者会議では、下記のICRP・ICRU共催のイベントも派遣対象に追加することに致しました。積極的な応募をお待ちしております。

1.事業の目的

　放射線防護アンブレラ代表者会議では、放射線防護関連の国際的機関が主催する会合に、若手専門家を派遣し、もって当該分野におけるグローバル人材の育成と確保の一助とする。

2.派遣先（追加分）

　以下の会合に、若手専門家を2名程度派遣する。

* ICRP・ICRU 90th Anniversary Colloquium（2018年10月17-18日、ストックホルム）　https://www.stralsakerhetsmyndigheten.se/en/icrpicru90

3.支給費用

　会合参加に必要な旅費（航空賃、宿泊費、日当）を支給する。

支給額は、放射線防護アンブレラ代表者会議の事務局である量子科学技術研究開発機構の海外出張規程に従う。なお、放射線防護アンブレラ代表者会議は、海外派遣中の事故、疾病についての責任は負わない。

4.応募資格

(1)　放射線防護アカデミアに参加する学会の正会員

(2)　所属機関が、当該分野のグローバル人材育成の対象とすることを承諾している者

(3)　健康状態が良好で、応募時点で45歳未満の者

5.申請方法

申請者は、別紙の「平成30年度国際会合若手派遣事業　申請書」に必要事項を記入し、所属機関の承諾を得て、平成30年8月24日までに放射線防護代表者会議までメールで申請する。申請書は、所属長の公印が押印されたものをPDF化して添付すること。

なお、今回の応募は、公示から締め切りまでの期間が短く、また夏期休暇の影響で、申請書の『7．所属機関長からの推薦、出張承諾』を得ることが難しい方は、後日の提出でも結構です。

6.選考方法

放射線防護アンブレラ代表者会議で選考し、その結果を8月31日頃、申請者に通知する。

7.選考基準

(1)　会合主催者が想定する参加者に合致した専門性と資質を有していること。

(2)　本応募資格に合致していること。

8.派遣後の活動

　派遣者には、平成30年度の放射線防護に関わる国際動向報告会に出席し、出張報告を行うことを期待する（ただし、報告会の出席を応募の条件とはしない）。また、放射線防護専門家の若手代表として、放射線防護アンブレラ事業に協力する。

問い合わせ先：

放射線防護アンブレラ代表者会議 事務局

（量研・放射線医学総合研究所・放射線防護情報統合センター内）

TEL: 043－206－3106

E-mail：kanda.reiko@qst.go.jp

申請書提出先：

放射線防護アンブレラ代表者会議

E-mail：ml-bogoacademia@qst.go.jp

放射線防護アンブレラ代表者会議

国際会合若手派遣事業　申請書

平成30年度国際会合若手派遣事業 申請書

平成　　年　　月　　日

放射線防護アンブレラ代表者会議

議長　　　酒井　一夫　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | ふりがな |  |
| 氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 生年月日 | 西暦　　　　　　年　　　　月　　　　日　　(満　　　　歳) |
| 所属学会(該当に✔) | □日本放射線安全管理学会　　　　　□日本放射線影響学会□日本放射線事故・災害医学会　　　□日本保健物理学会 |
| 所属機関名 |  |
| 職名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| (電話) | (　　　　　)　　　　－　　　　　　 |
|  | (電子メール) |  |
|  | 現住所 | 〒 |
|  | (電話) | 自宅( ) － 　　／　　携帯( ) －  |
|  | (電子メール) |  |

平成30年度国際会合若手派遣事業の派遣者として、応募資格を満たしており、下記の国際会合に参加することを希望するため、申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会合 | 該当する方にチェック | □　OECD-NEA主催 国際放射線防護スクール、2018年8月20-24日、ストックホルム□　IAEA主催 International Symposium on Communicating Nuclear and Radiological Emergencies to the Public、2018年10月1－5日、ウィーン■　ICRP･ICRU共催90th Anniversary Colloquium（2018年10月17-18日、ストックホルム） |

 (別紙)

選考および支給費用に必要な情報

(ページ数に制限はありませんので、適宜行数を増やしてお書きください。)

1. 当該国際会合に出席を希望する理由
2. 所属学会で発表した原著論文や口頭発表演題

・筆頭のみ、新しい順に5タイトル程度、あるいは過去3年間程度。

①

②

③

④

⑤

1. 過去の国際会合への参加実績

・国際学会に3回参加し、ポスター発表をしたなど。

・専門性やコミュニケーション能力が判断できるような具体的な記載が望ましい。

1. 海外出張中の旅程

　・航空チケットの手配は量研で行います。希望の航空会社・便があればお書きください。

　・ホテルはご自身での予約となります。ストックホルムの場合、概してホテル代が高いのですが、量研の海外規程では宿泊代は一律の金額のお支払い（16000円程度）となります。

(例)

平成30年10月〇日　　〇〇空港発　　△△空港着(希望の航空会社・便)

平成30年10月〇日　　△△空港発　　〇〇空港着(希望の航空会社・便)

1. 当該の国際会合への登録の有無

　・登録は以下のサイトから行えます。登録は10月1日までオープンのため、採択となってから登録することも可能ですが、定員オーバーで早めに打ち切られる可能性もあるかと思います。<https://www.stralsakerhetsmyndigheten.se/en/icrpicru90>

（該当者は以下をチェックしてください）

□　登録済みである

1. 所属機関の上長\*からのコメント（\*上長：職場の直属の上司や指導教官等）

・申請者を放射線防護のグローバル人材として育成することの抱負をお書きください

所属機関 上長名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

1. 所属機関長からの推薦、出張承諾

|  |
| --- |
| 放射線防護アンブレラによる国際的機関主催会合等への若手派遣事業に、下記の者を適当と認め、推薦いたします。また申請者が派遣者として選考された場合、申請期間の海外出張と「放射線防護に関する国際動向報告会」の参加を承諾いたします。 |
| 派遣する国際会合(該当するものにチェック)□OECD-NEA主催 国際放射線防護スクール、2018年8月20-24日、ストックホルム□IAEA主催 International Symposium on Communicating Nuclear and Radiological Emergencies to the Public、2018年10月1-5日、ウィーン■ICRP･ICRU共催 90th Anniversary Colloquium（2018年10月17-18日、ストックホルム） |
| 申請者氏名　　　　　　　　　 | 推薦者　　　所属名　　　　　　　　　　　　　　　　　　役　職　　　　　　　　　　　　　　　平成　　　年　　月　　日　　　氏　名　　　　　　　　　　　　　　　公印 |

以上